

2025年度 ニチキッズニッセイみらい静岡葵保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月28日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	一人一人の気持ちを受容して寄り添うこと、子どもの気持ちを汲み取ることを全職員が大切にしながら行動できた。一人一人を大切にする保育について園内研修にて学び、保育に活かすことができた。
子どもの発達援助	戸外に出かけ、自然物や街の中の移り変わりを子どもが気付き、発見を支える保育を行えた。身の回りの支度も自分でできることはやってみることができるよう声掛けや援助の仕方を工夫した。
保護者に対する支援	迎えの際に子どもの様子を丁寧に伝えることで保護者との信頼関係を深めることができるよう意識した。成長した姿を伝えることで安心して園に通えるように努めた。引き続き行なっていきたい。
保育を支える組織的基盤	外部研修や内部研修に参加しスキルアップを積極的に行なった。研修で学んだことを保育の中に活かすことができた。日々のミーティングで共有し、保育の質の向上に繋げていきたいと思う。

総評
春にはアオムシを飼育し、蝶になるまで観察し、逃しました。絵本などでみるのとは違い実物を観察する経験は子ども達の好奇心を育む良い経験になったと思う。室内遊びの中でも、子どもが工夫して遊びを広げることができた。次年度に向けては環境設定についての時間を多く取り、季節や子どもの様子に合わせて環境を整えていきたい。玩具の充実にも取り組み、手作り玩具の製作も取り入れ子どもの興味や関心を広げていきたい。保護者との良い関係を築いていくために、日々のミーティングで園児の情報共有を丁寧に行い、理解を深め保育に生かしていきたい。